

在宅で仕事をするということ

私のSOHO体験（5）

在宅勤務をはじめて約3年経ちました。週2回在宅1回の出勤のペースを今も続けています。仕事の内容はメールニュースの配信は変わっていないのですが他の仕事は時々に応じて変わっています。この2月に在宅勤務を将来的にやめる方向でという方針になり私の仕事を書き出したところ、量の多さにびっくりしました。上司も驚いたのかもしれませんが。

在宅勤務の問題はひとつあげるとすれば「情報の共有ができていないか」ということだと思います。この職場に勤務して7年になるのでだいたいのスケジュールは把握していますし、毎週予定表も届きます。でも出勤先で起きていることがリアルタイムでわかることはありませんし、たまには自分の送ったファイルが忘れられていることもあります。ちょっとしたことの積み重ねが在宅勤務をむずかしくします。それを出勤の際に私の場合カバーすることができるのですが、在宅勤務だけの方はより情報を密に行きかわせる必要があると思います。

出勤して職場での仕事と在宅での仕事は私の場合仕事の感触が違います。在宅での仕事は量を時間内でこなす。また自分なりに質の高い仕事をすることに固執します。私の場合そうでないと、仕事をしたという満足感が薄いです。出勤すると電話もうけますし、不意の仕事もはいつて、躍動感があり時間が来たら、ああ今日も終わったというまた違う満足感があります。在宅の場合仕上げてしまわないと満足しません。

まったく別物の仕事とわりきって、メリットデメリットを考えつつ仕事をするのがよいのかと思います。

2006.4.3